

名古屋市

地域包括ケアシステム
ガイドブック

この場所がいい、ずっと支えて、支えられて



「この場所がいい、ずっと支えて、支えられて」は、名古屋市の地域包括ケアシステムによって、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で暮らすことができることを表現するキャッチコピーとして、令和2年2月に公募により選定されました。

名古屋市の 地域包括ケアシステム

～この場所がいい、ずっと支えて、支えられて～

2025年を目途に地域包括ケアシステムを構築し、医療や介護が必要になっても、**住み慣れた地域で、人生の最後まで尊厳をもって自分らしく暮らす**ことができるよう支援します。

医療・介護連携

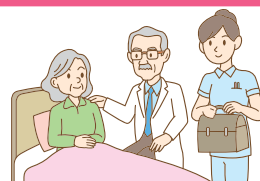
医療と介護が必要な方に、医師、歯科医師、看護師、ケアマネジャー等が連携して切れ目のない支援をします。

●はち丸在宅支援センター ⇒P.7



医療

病院を退院した後に在宅医療を地域で提供できるよう支援します。



介護

介護が必要な方に適切なサービスを提供できるよう支援します。

- ホームヘルプサービス
- デイサービス
- 認知症高齢者グループホーム等



認知症施策

認知症の人や家族を支援します。

- 認知症カフェ ⇒P.6
- 認知症サポーター養成 ⇒P.2
- 認知症初期集中支援チームの訪問 等 ⇒P.2



介護予防

運動、栄養、口腔機能の維持向上を支援します。

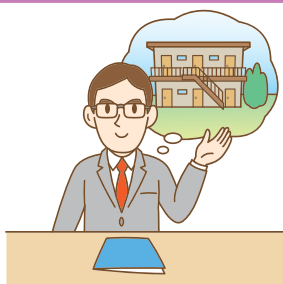
- 高齢者サロンへの専門職派遣
- 保健センター「いきいき教室」
- 福祉会館「認知症予防教室」等 ⇒P.5



住まい

住宅の確保にお困りの高齢者等へ、住宅の情報提供や入居相談などの支援を行います。

⇒P.8



生活支援

ひとり暮らしの方等の困りごとを、地域、企業、学生、NPO等の助け合いで支援します。

- 給食会 ⇒P.4
- 地域支えあい事業
見守り、ゴミ出し、買い物、庭木の手入れ 等 ⇒P.4



※各区を基礎単位としてシステムを構築しています ⇒P.9～12

いきいき支援センターにご相談ください!

(地域包括支援センター)

設置目的

「いきいき支援センター」は、いつまでも住み慣れた地域で安心して生活できるよう、さまざまな方面から高齢者のみなさまを支える機関です。

業務内容

保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員などの専門職がチームになり、以下の業務を行います。

さまざまな問題について相談に応じます。

- 健康、福祉、介護などの総合的な相談
- 認知症に関する相談

いつまでも元気に!介護予防をすすめます。

- 介護予防に関する取組みの紹介 ⇒P.5
- 要支援1・2と認定された方等に対して、介護予防を目的としたケアプランを作成

高齢者のみなさまの権利を守ります。

- 高齢者虐待、金銭管理などの権利擁護、消費者被害の相談

孤立しがちな方への見守り支援を行います。(見守り支援員)

- 孤立しがちな方への個別訪問や、定期的に電話をする見守り電話(いきいきコール)

「認知症の人を介護するご家族」を支援します。

- 家族教室、家族サロンの開催、認知症カフェの紹介
- 医師(もの忘れ相談医)の専門相談
- 認知症サポーター^(※)養成講座の開催

※認知症サポーターとは

「認知症サポーター養成講座」を受講し、認知症について正しい知識を持った、認知症の人やご家族の応援者です。

認知症の早期発見・早期対応に向けた取り組みを行います。

- 医療・介護の専門職と専門医とで構成された「認知症初期集中支援チーム」が、認知症が疑われる人、認知症の人とそのご家族への訪問等による支援を通じ、自立生活のサポートを実施

開設時間 月～金曜日(祝日・年末年始は除く)午前9時～午後5時

相談費用 無料

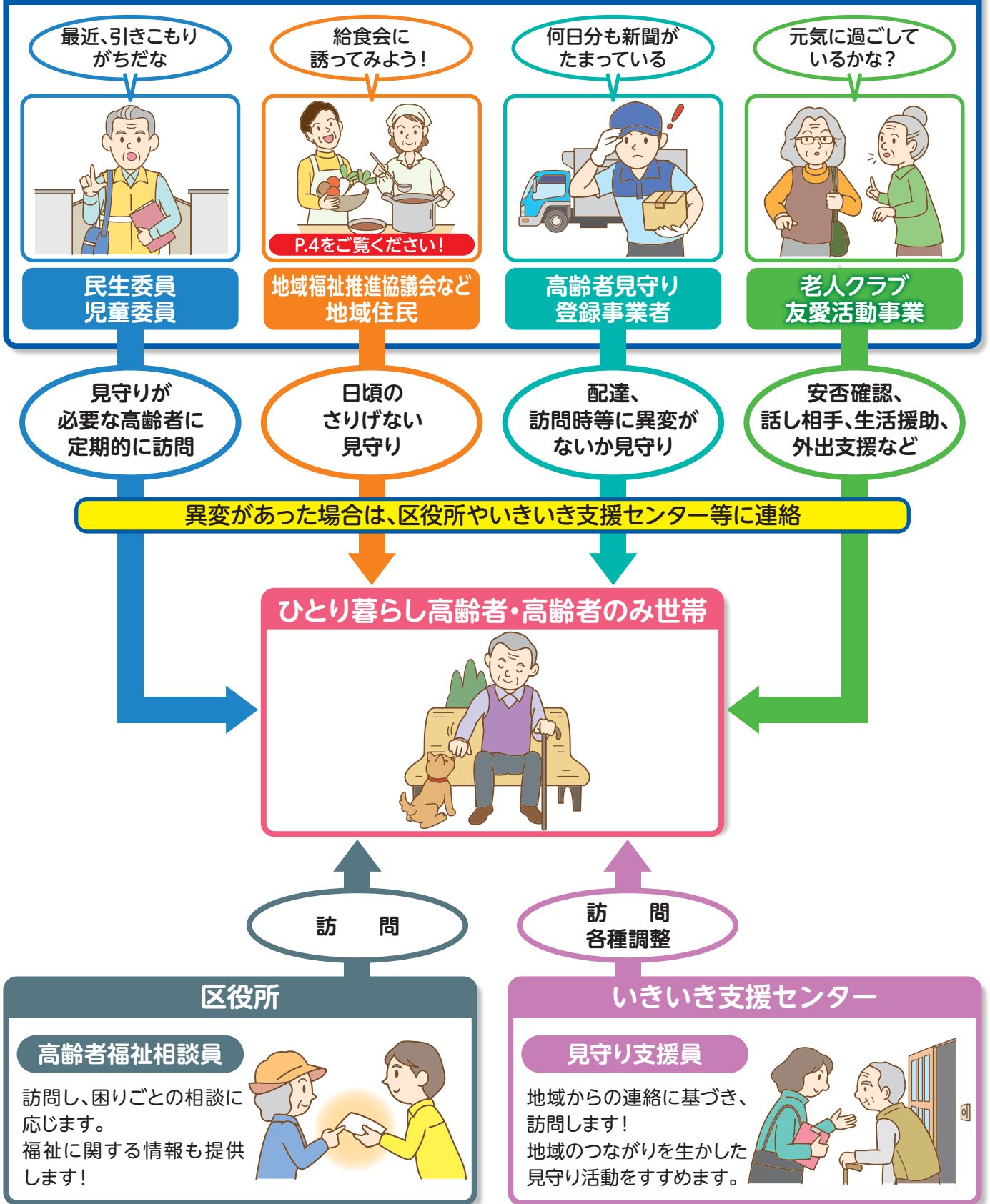
いきいき支援センターの連絡先についてはP.13をご覧ください。

安心した生活を支える見守り活動

名古屋市では、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、専門機関や地域住民で連携して、見守り活動をしています！

多様な主体による見守り活動

地域におけるネットワーク



生活支援

地域支えあい事業—ご近所のつながりを生かして—



地域支えあい事業について、織部さんご夫婦と木村さんにお話をうかがいました！織部さんご夫婦は、地域支えあい事業を利用しています。木村さんは、ご近所ボランティアコーディネーター（※）として、地域支えあい事業でボランティア活動をしています。



夫婦二人暮らしなので、助かっています！（織部さんご夫婦）

地域支えあい事業を利用して、病院や買い物に付き添ってもらったり、お話を聞きに来てもらったりしています。ご近所ボランティアコーディネーターの木村さんが、とっても頼れる存在です！お話しやすくて、いつも困ったことがあると、助けてくれます。

地域の方との交流が増えました！（織部さんご夫婦）

地域支えあい事業に相談すると、近くに住んでいる方がお手伝いに来てくださいます。相談しなかったら関わらない人たちがばかりです。地域の方とふれあう機会をいただけたように思います。

住み慣れた地域で一日でも長く生活してもらいたい（木村さん）

自力ではできないことでも、同じ住民が少し手を差し伸べれば、できることはたくさんあります。最後のさいごまで、住み慣れた地域で住み続けられるようになってほしいと思っています。向こう三軒両隣が実現するといいなと思っています。

「無理なく、力を抜いて続けられました。」（木村さん）

住民のつながりを生かした事業なので、無理なく、楽しんでやってこられました。これまでのみなさんとの交流が、私にとっての宝物です。

地域支えあい事業とは…

学区を単位とした地域福祉推進協議会が設置する相談窓口で、高齢者等のちょっとした生活上の困りごとを受け付けています。地域住民を中心としたボランティアが支援する互助による活動です。

実施していない学区もあります。詳しくはお住まいの区の社会福祉協議会へお問い合わせください。

※ご近所ボランティアコーディネーター…地域支えあい事業の相談窓口で、困りごとの受付をするボランティアさんです。困りごとを聞いて、ボランティア活動してくださる方（ご近所ボランティア）を調整します。

生活支援

給食会—私が一人暮らしになったら行きたい！—



西区で給食会を開催している星寿会の方にお話をうかがいました！

みなさんの歓声を聞くのが楽しみです

私たち星寿会は、西区山田学区に住む、65歳以上のおひとり暮らしをされている方を対象に、お昼ごはんを食べながら交流する食事会を年間10回開催しています。毎回40名ほどの参加者さんがいらっしゃいます。食事は私たちボランティアの手作りです。なるべく品数が多くなるよう、割子弁当の容器に入れて、みなさんに配膳します。参加者さんが蓋を開けたときの「わあ！」という喜ぶ声を聞くとやりがいを感じます。



リピーターが増えています！

お食事をしながら、参加者さん同士でお話をしながら交流されています。和気あいあいの雰囲気です。初めてお誘いして参加された方も、リピーターとなってくださいます。それが嬉しくてがんばれます！



新しいメニューも作りますよ！

献立は、みんなで集まって打ち合わせをします。新しいメニューを家で考えて、みんなで試作会をすることもあります。味付けがまいちだと言って、却下されることもありました（笑）



星寿会は、今でいう「ワンチーム」です

星寿会は、13名で活動しています。献立を決めるのも、買い出しも、みんなで楽しんでやっています。メンバーに恵まれていて、チームワークのおかげで運営できています。このメンバーの一員になれてよかったと思っています。

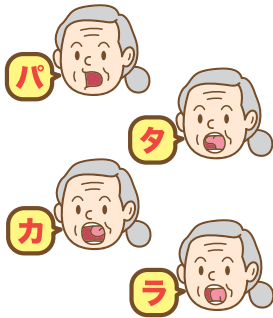


ふれあい給食サービス事業とは…

同じ学区に住む高齢者や障害者などがコミュニティーセンターなどで集い、ともに食事をするを通じた交流することを目的とする事業です。学区を単位とした地域福祉推進協議会等で運営されています。会場に来られない方のために配食をしている学区もあります。 ※運営の仕方は学区によって様々です。

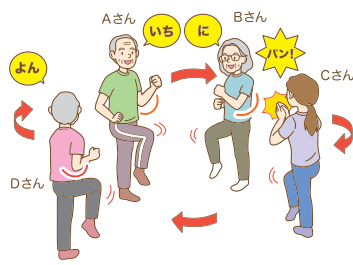
効果的な取り組み、ご紹介します

【パタカラ体操】



パタカラ体操とは、口唇、舌をしっかり動かしてはっきり「パ」「タ」「カ」「ラ」を発音することで、食べるために必要な噛む力、飲み込む力などを維持・向上させることが期待できるお口の体操です。自宅で気軽に取り組みます。

【コグニサイズ】



コグニサイズとは、頭を使う認知課題と体を使う運動課題を両方向同時に行い、心と体を元気にするプログラムです。国立長寿医療研究センターが開発したプログラムです。福社会館などで取り組みます。

【回想法】



回想法とは、過去の出来事や思い出を語り合うことを通して、脳を活性化させ、過去をとらえ直し、現在や未来に活かし、元気になっていただく取り組みです。高齢者サロンなどで認知症予防リーダーさんとともに体験できます。

なごや介護予防・認知症予防プログラム

「運動」「栄養」「口腔ケア」が効果的に組み合わせられた本市独自のプログラムです。福社会館やミニデイ型通所サービスで取り組みます。また、気軽に自宅でも取り組めるよう動画も作成しています。QRコードまたは「なごや介護予防プログラム 動画」で検索してください。パタカラ体操やコグニサイズも実践できます。

なごや介護予防・認知症予防プログラム

ホームエクササイズ

若さを保つために家で毎日体操を



😊 認知症予防リーダーの田村さんにお話をうかがいました！



高岳福社会館
認知症予防リーダー
田村 昌之さん

お手伝いできることだったので、始められました。

認知症予防リーダーを始めたのは、福社会館の職員さんに講座に誘われたことがきっかけでした。何か手伝えることがあればやりたいと思っていたので、始められました。

仲間との練習も楽しみの一つです。

回想法やコグニサイズ、パタカラ体操を勉強して、同世代の方たちが地域で集まるサロンに出向いています。サロンの参加者のみなさんにお教えできるように、認知症予防リーダーの仲間たちで練習します！

元気の秘訣は無理のないチャレンジです。

現在89歳です！「チャンスがあれば何でも参加する」ことをモットーにしています。スケジュールが空いていれば何でもやってみる！ただ、大切なのはストレスをためないこと。生活の中で無理をしないように気を付けています。

仲間といると元気が湧いてきます！

活動の依頼があると、嬉しくなります。自分に合った役割をもらえる喜びがあります。そして、おそろいの緑色のポロシャツを着て活動する仲間は、一緒にいると力が湧いてくるような、ちょっと特別な存在です。



<東区あおいサロンでの活動>

認知症予防
リーダーとは…

認知症予防に関する知識や技術を学んで、地域において認知症予防の普及・啓発を進めるリーダーです。各区の福社会館で養成講座を受講して、地域住民が交流するサロンを中心に活動しています。



● 介護するうえで心掛けていることはありますか？

- ・自分も相手も暗くならないように、明るく接するようにしています。

● 介護しているご家族への思いを聞かせてください。

- ・今までお世話になった分、感謝の気持ちで接しています。

● 介護してよかったことやうれしかったこと、報われたことなどはありますか？

- ・以前は怒り出すこともありましたが、穏やかになりました。

● 同じような境遇の人へのメッセージ

- ・自分自身もあまり無理をしないように、気長に接することが大切だと思います。

● その他

- ・いきいき支援センターの「家族教室」(P.2)に参加したところ、苦労しているのは自分だけじゃないんだと改めて知り、気が楽になりました。参加するようになってからマイペースで前向きに生きていこうと思えるようになりました。

(偕行会城西病院内 ほっとカフェじょうさい)

※認知症カフェとは、認知症の人やその家族、地域住民、医療や介護の専門職等、誰もが気軽に集い、楽しく過ごしながら仲間づくりや情報交換をする場で、市内に200か所以上あります。

● 運営者の声

認知症に関する相談が増えてきたこともあり、病院として地域貢献したいという思いで認知症カフェを開きました。スタッフだけでなく、参加される方々にも役割を担ってもらい、みんなでこのカフェを作り上げてきました。カフェを始めたことで、地域との信頼関係が深まったと感じています。また、参加者の早期受診につながったこともあります。平日は毎日開催しており、どなたでも参加できます。音楽療法や運動療法、笑いヨガなどさまざまな催しがありますので、興味のあるところへぜひご参加ください。



● 参加者の声

認知症の夫についていきいき支援センターに相談したところ、このカフェを紹介してもらいました。それから夫婦二人で参加しています。カフェに参加して、同じ年代の方や孫と同世代のスタッフの方と触れ合うことがとても楽しいです。また、いろいろな相談にも乗ってもらえるので、こちらに通うようになって気持ちが楽になりました。夫も毎回楽しそうに参加しています。まだ認知症カフェに行っていない、認知症の人や介護するご家族にはぜひカフェへの参加をオススメしたいです。きっと素敵な出会いや新しい気づきを得ることができるはずです。

みなさんは医療と介護のサービスを受けながら、自宅で生活を送ることができることをご存じですか？ 住み慣れた自宅で、医療・介護の専門職のサポートを受けながら生活することを在宅療養と言います。

ひとり暮らしをしているAさん（72歳）の在宅療養

● 発症から入院

Aさんは脳梗塞と診断され、治療を受けました。右半身に麻痺が残りましたが、病状が安定してきたため、入院から3週目に回復期リハビリテーション病院へ転院となりました。理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などによるリハビリを受け、自宅での生活に向けた訓練を行いました。



● 自宅で生活する準備

自宅での生活がなんとか可能な状態まで身体機能が回復したため、近くに住んでいる長女がいきいき支援センター（P.2）へ相談し、要介護認定の申請をしたところ要介護2と判定されました。自宅生活での家事や移動、入浴などに不安があったため、ケアマネジャーに相談し、自宅で安心して生活するためのケアプランを立ててもらいました。また、通院の不安もあったため、はち丸在宅支援センターより、在宅療養を支援しているかかりつけ医等を調整してもらいました。



● 自宅に戻ってから

訪問介護のホームヘルパーによる食事の準備や掃除などのサービスと併せ、デイサービスへ通うようになりました。福祉用具（手すり、歩行補助つえ）の貸与により、室内の移動も不安がなくなりました。また、看護師の定期的な訪問により、血圧の測定や服薬管理をしてもらっています。

自宅での一人の生活は不安ばかりでしたが、様々なサービスを利用することで、今では安心して暮らすことができるようになりました。

Aさんの1週間

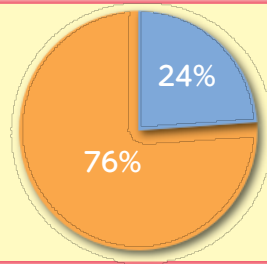
	月	火	水	木	金	土	日
午前	訪問介護	デイサービス	訪問介護	デイサービス	訪問介護	デイサービス	長女の宅
午後			訪問看護				

はち丸在宅支援センターとは…

市内各区に設置されている在宅療養についての相談窓口です。「通院が難しくなってきた」「退院が決まったが不安がある」等の場合には、いきいき支援センターや病院と連携して、相談に応じています。相談内容に応じて、医療機関等のご紹介をしています。

自宅で受けるサービスと施設で受けるサービス

介護保険サービス利用者のうち
在宅サービスの利用者と
施設・居住サービスの利用者割合



施設・居住系サービス
在宅系サービス

※平成 31 年 3 月審査分

在宅系サービス

ホームヘルパーが自宅を訪問して、身体介護や生活援助を受けていただくサービスや、施設に通って食事や入浴ができるサービスがあります。

施設・居住系サービス

特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホームなどに入所することで、食事や入浴などの日常生活の介護が受けられるサービスです。

住まいの確保にお困りの方に

—名古屋市では、民間賃貸住宅の入居に関する相談を行っています！—

●「民間賃貸住宅入居相談」—住まいを一緒に探す窓口です

高齢者・障害者・低額所得者など住まいの確保に配慮が必要な方を対象に、民間賃貸住宅への入居に関する特別相談を実施しています。(相談無料・原則予約制)

- 相談員: 公益社団法人 愛知共同住宅協会から派遣された特別相談員
- 相談日時: 月2回・午後1時～午後4時(毎月の相談実施日は住まいの相談コーナーへ直接お問い合わせください)
- 実施場所: 栄市民サービスコーナー 住まいの窓口内
名古屋市「住まいの相談コーナー」(詳細は下記に記載)
- 予約受付: 名古屋市「住まいの相談コーナー」へ事前にお電話でご予約ください。
電話 052-242-4555
*相談希望日の前月1日(定休日の場合は1日以降の営業日)からご予約可能です。
*市内在住、在勤又は在学(予定者を含む)の方が対象です。

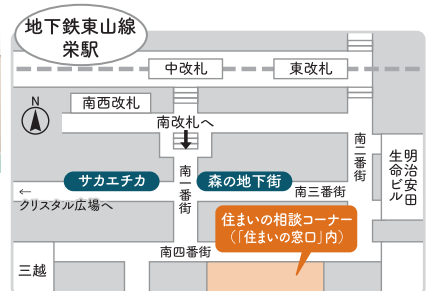
相談当日は、住まいの希望や条件などをお聞きしながらインターネットの賃貸住宅サイトなどを利用して、住まい探しについての助言や情報提供を行います。

ご希望があれば、相談後も引き続き電話により住まい探しのご相談に対応します。

※民間賃貸住宅への入居可否に関する最終的な判断は、不動産事業者等が行います(入居を確約するものではありませんので予めご了承ください)。

●栄市民サービスコーナー 住まいの窓口 名古屋市「住まいの相談コーナー」のご案内

- 営業時間: 午前 10 時～午後 7 時
- 定休日: 毎週木曜日、第2・4水曜日、年末年始
- 所在地: 中区栄三丁目5番12号先
栄・森の地下街 南四番街 南側



名古屋市「住まいの相談コーナー」では、「民間賃貸住宅入居相談」のほか、住まいや空き家利活用に関する情報提供・相談受付を行っています。

また、住まいの窓口内には、市営住宅・定住促進住宅・市公社住宅、県営住宅・県公社住宅及びUR賃貸住宅への入居に関する案内窓口も設置されていますので、あわせてご利用ください。

緑区の取り組み

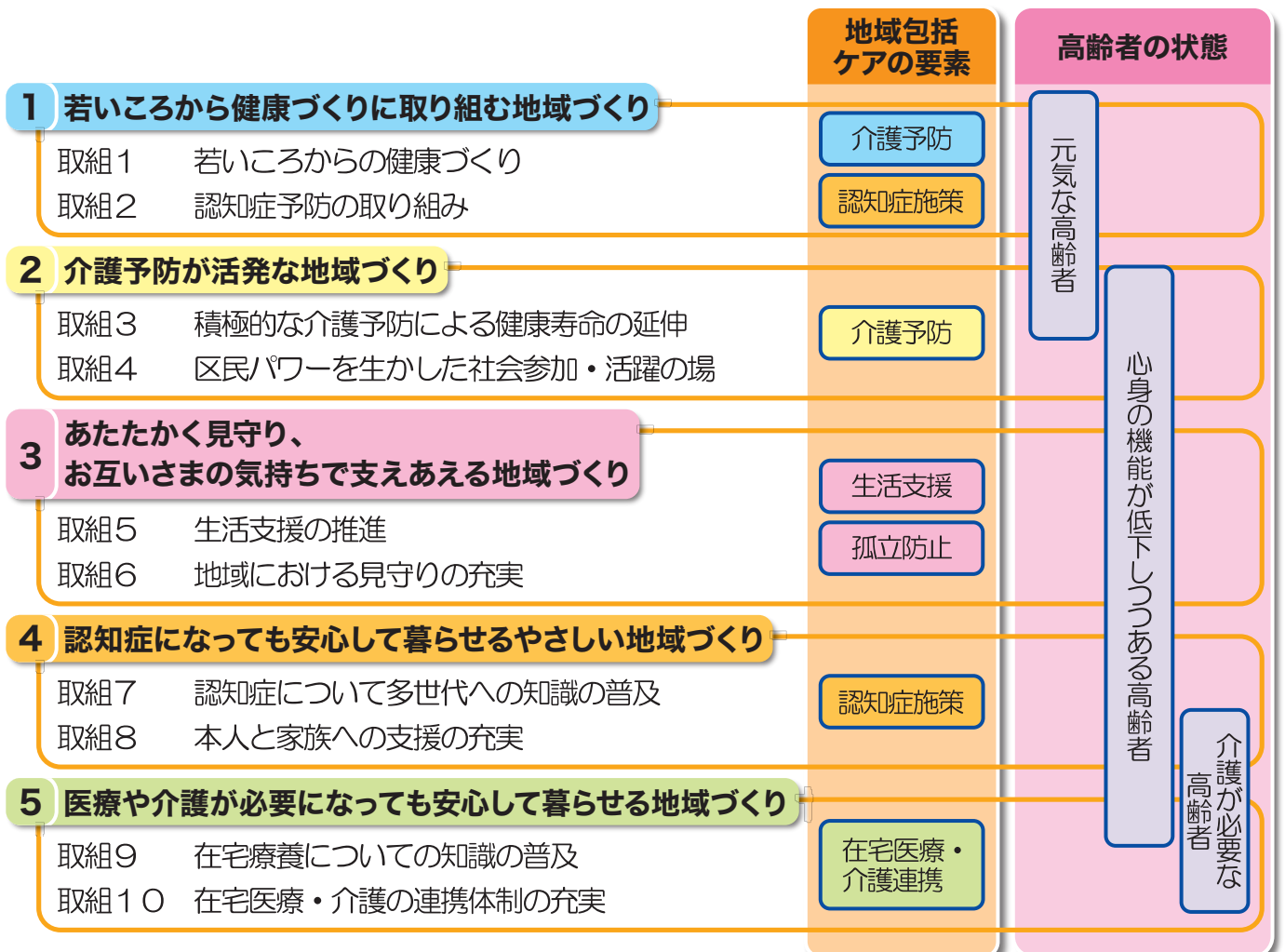
緑区地域包括ケア推進プラン2019(2019年3月策定)

緑区は、65歳以上の人口割合が22.4%(市は24.7%。令和元年10月現在)と比較的若い年齢層の方が多く、健康寿命は男女とも市内上位で、活発に活動する元気な方が多いまちです。一方、65歳以上の人口は5万5千人余と市内で最も多く、今後も増加することが見込まれます。

地域包括ケアシステム推進のためには、若いころからの健康づくりが重要です。また、その人なりの健康を維持し、自身の経験や知識を活かして地域とつながりながら、笑顔で暮らすことができるよう、「**健やかにともに支えあう 豊かな地域 緑区**」の実現を目指し、以下の取り組みを進めます。

〈緑区地域包括ケア推進プラン2019〉

介護予防・健康寿命の延伸を目指して取り組む、緑区民のための地域包括ケアシステム構築に向けた5か年のプランです。





緑区のいろいろな取り組みを紹介します。



ロコモ予防教室
問合せ先：保健センター

取組1



いきいき教室
問合せ先：保健センター

取組3



高齢者サロン・友愛サロン
問合せ先：社会福祉協議会

取組4



地域支えあい事業
問合せ先：社会福祉協議会

取組5



家族サロン
問合せ先：いきいき支援センター

取組8



認知症カフェ
問合せ先：いきいき支援センター

取組8



地域出張講座
問合せ先：はち丸在宅支援センター

取組9



多職種連携研修会
問合せ先：はち丸在宅支援センター

取組10

緑区独自の取り組み



「劇団オレンジリング」の活動 取組7

演劇を通して、認知症の知識をわかりやすく普及している、認知症サポーターによる市民劇団です。平成25年度に結成され、区内各所のイベント等で活躍しています。

問合せ先: いきいき支援センター



「認知症の方にやさしい店」登録証とステッカー



「緑区あんしんカード」

取組6

65歳以上のひとり暮らしの方等が安心して暮らせるために、緊急時にまわりの方や関係機関がすみやかに連携できるよう、連絡先を記入しておくカードです。

問合せ先: 区役所福祉課・支所区民福祉課

◆鉛筆で記入してください。(最終更新日) 年 月 日

名前	生年月日	大 小 月 日
電話番号	062-	携帯
緊急連絡先	血液型	
治療中の病		
アレルギー		
民生委員		
介護支援専門員(ケアマネジャー)		

緑区あんしんカード
困ったときは電話してね!

火事・救急 119 / 警察 110

<input type="checkbox"/>	北部いきいき支援センター	899-2002
<input type="checkbox"/>	〃 (分室)	877-9001
<input type="checkbox"/>	南部いきいき支援センター	624-8343
<input type="checkbox"/>	緑区役所福祉課	625-3957
<input type="checkbox"/>	徳重支所区民福祉課	875-2207
<input type="checkbox"/>	緑区休日急病診療所	892-1133

緊急時には裏を確認! 年に1度は内容確認しましょう

「認知症の方にやさしい店」

取組8

認知症の方が地域で安心して買い物等ができるように、困っていることを手助けしていただける「認知症サポーター」(*1)がいるお店です。緑区内に115店舗(令和元年12月現在)あります。お気軽にご利用ください。

問合せ先: いきいき支援センター

(*1) 認知症サポーターとは
認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けをする支援者のことです。



健康づくり・認知症予防には、社会参加や運動・食事が大切です。サロン等に出かけてみませんか?

★緑区たまり場マップ★

区内に約200か所ある、「ふれあい・いきいきサロン」をMAPで紹介しています。自分の身近なところで、楽しんで出かける場所を見つけてみましょう!

配布場所: 社会福祉協議会、いきいき支援センター等
問合せ先: 社会福祉協議会



国立長寿医療研究センターとの連携

緑区では、平成25年度から国立長寿医療研究センター(以下「長寿研」と)協定を結んで区民の健康づくりや認知症予防に取り組んできました。今後も認知症施策を推進していきます。



「脳トレみどり」による脳活体操の普及

取組2

取組4

地域における認知症予防活動が可能な人材を、緑区と長寿研が連携して育成し、その後、自主グループとして活動を続けています。

認知症カフェを自主運営をするほか、認知症に関する様々なイベントで認知症を予防する「脳活体操」を広める活動を推進しています。

問合せ先: 区役所福祉課



長寿研の監修による「認知症ケアパス(緑区版)」

取組7



認知症を発症し、症状が進行していく中で、いつ・どこで・どのような医療・介護・支援が受けられるかを示す手引きです。

認知症の種類や症状、進行度と症状、家族の気持ちとケアのポイント、対応方法など、ていねいに説明しています。

配布場所: いきいき支援センター、区役所福祉課・支所区民福祉課等
問合せ先: いきいき支援センター

研究開発プロジェクト「認知症予防のためのコミュニティの創出と効果検証」

認知症に関する調査研究のために実施した高齢者の健診「脳と体の健康チェック(平成25年度実施)」を実施し、約5,000名の緑区民が参加しました。その後も追跡調査・検証を継続しています。

研究成果

緑区民が参加した長寿研の研究から、以下のことがわかりました。

- 1 難聴と社会的活動減少の合併は、要介護状態に陥る危険性を相乗的に高めます。
- 2 慢性的な痛みを持つ人の中でも、日常生活において身体活動を十分に継続している人はそうでない人よりも要介護状態に陥る危険性が低くなります。
- 3 加齢に伴う食欲不振は、身体的フレイル(*2)を介して要介護状態に陥る危険性を高めます。

(*2)フレイルとは
年とともに体力・気力が下がり心身の活力が低下した状態。

各種連絡先

令和2年1月現在

緑区

いきいき支援センター(地域包括支援センター)…高齢者の総合相談窓口として健康、福祉、介護など生活のお困りごとは何でもご相談に応じています。担当地域のセンターをご利用ください。

名称	所在地	TEL	FAX	担当地域(小学校区名)
緑区北部いきいき支援センター	緑区鳴子町一丁目7番1 緑区在宅サービスセンター内	899-2002	891-7640	旭出、浦里、大清水、片平、 神の倉、熊の前、黒石、小坂、 常安、滝ノ水、戸笠、徳重、 長根台、鳴子、鳴海東部、桃山
	緑区徳重五丁目625 アーバニティ幸1階	877-9001	877-8841	
緑区南部いきいき支援センター	緑区左京山3038	624-8343	624-8361	相原、有松、大高、大高北、大高南、桶狭間、 太子、鳴海、南陵、東丘、平子、緑

高齢者いきいき相談室…身近で気軽な相談窓口としていきいき支援センターと連携して相談に応じています。

相談室名	住所	TEL	FAX	開設日時
居宅介護支援事業所 太陽・緑	緑区潮見が丘一丁目77番地 名古屋市立緑市民病院北館5階	857-8600	857-8601	月～金/9:00～17:00 (祝日、年末年始を除く)
支援センターナルミ	緑区砂田二丁目116番地	870-5100	870-5101	月～日/9:00～18:00(*) (祝日、年末年始を除く)
居宅介護支援事業所 でんじやま	緑区鳴海町赤塚112番地の1	892-1199	892-1199	月・火・水・金・土/9:00～17:00(*) (12/30～1/3を除く)
ジャンボ居宅介護支援事業所	緑区鳴海町字小森8番地6 サンハウス野並2階208号室	846-2733	846-2734	月～土/9:00～18:00 (祝日、8/15、12/29～1/4を除く)
この整形外科介護プランセンター	緑区浦里2丁目174	891-8140	891-8143	月～金/9:00～17:00(*) (祝日、年末年始を除く)
清水会ケアプランニングセンター ひかり	緑区藤塚三丁目2802番地	877-8484	878-5707	月～土/9:00～17:30 (年末年始、GW、4/8、12/1を除く)
なごやかハウス滝ノ水	緑区滝ノ水三丁目2103番地	895-4701	895-7673	月～金/9:00～17:20 (祝日、12/29～1/3を除く)
けあプラン鳴子	緑区鳴子町四丁目13番地 愛知県住宅供給公社鳴子第1住宅	899-6603	899-0800	月～土/9:00～17:00 (8/13～8/15、12/30～1/3を除く)
緑区介護保険事業所	緑区鳴子町1丁目7番1	680-7766	680-7620	月～金/9:00～17:00 (祝日、12/29～1/3を除く)
名古屋市緑区ケア マネジメントセンター	緑区鳴子町一丁目7番1 緑区在宅サービスセンター内	892-0584	892-0591	月～金/8:45～17:15 (祝日、12/29～1/3を除く)
なるみ会ケアプランセンター	緑区細口一丁目210番地 第一なるみ病院	876-9977	876-8202	月～土/9:00～17:00 (水は9:00～12:00)(*) (祝日、12/30午後～1/3を除く)
桃山診療所指定 居宅介護支援事業所	緑区桃山一丁目54番地	876-6333	876-6485	月～土/9:00～17:00 (土は9:00～13:00)(*) (祝日、年末年始を除く)
ケアプランつゆくさ	緑区若田三丁目112 サンステージII101号室	613-8488	613-8854	月～金/9:00～17:00(*) (祝日、12/29～1/3を除く)
緑生苑指定居宅介護支援事業所	緑区大高町字上叡池14番	629-3245	622-8586	月～金/9:00～17:20 (祝日、12/29～1/3を除く)
南生協病院指定 居宅介護支援事業所	緑区南大高二丁目204番地	625-0573	625-0573	月～土/9:00～17:00 (土は9:00～13:00)(祝日、12/30午後～1/3を除く)
南生協よってって横丁 よってって指定居宅介護支援事業所	緑区南大高二丁目701番地	626-1555	626-1556	月～土/9:00～17:00 (土は9:00～13:00)(*) (祝日、12/30～1/3を除く)
ケアセンターぽぽ	緑区六田一丁目192	621-6140	629-0552	月～金/8:30～17:00 (12/30～1/3を除く)
株式会社福祉の里 名古屋鳴海営業所	緑区六田一丁目185	629-5877	625-0929	月～金/8:30～17:30 (祝日、12/30～1/3を除く)
居宅介護支援事業所 「やまゆり」	緑区鳴海町字尾崎山43-640	622-6280	623-4063	月～金/8:45～17:30(*) (祝日、年末年始を除く)
あくとかみどり	緑区漆山1401-B-201	629-0464	746-5950	月～金/9:00～18:00(*) (12/30～1/3を除く)

相談室名	住所	TEL	FAX	開設日時
ケアパートナー大高	緑区清水山二丁目402番地	626-3120	623-3760	月～土/8:30～17:30 (12/30～1/3を除く)
ケアマネハウス ライフケア有松	緑区太子一丁目135番地	746-3521	746-3522	月～金/9:00～17:00(*) (12/30～1/3を除く)
オーネスト鳴海指定 居宅介護支援事業所	緑区鳴海町字下汐田77番地3	621-1133	621-6699	月～日/9:00～18:00

*祝日、お盆、年末年始等の開設日、開設時間については、各相談室にお問い合わせください。

開設時間の末尾に()の記載がある相談室は、開設時間内であっても訪問等で職員が不在の場合もありますので、まずはお電話・FAXをお願いします。

区役所

名称	所在地	TEL	FAX
緑区役所福祉課	緑区青山二丁目15番地	625-3957	621-6841
徳重支所区民福祉課	緑区元徳重一丁目401番地	875-2207	875-2215

保健センター

名称	所在地	TEL	FAX
緑保健センター	緑区相原郷一丁目715番地	891-1411(代表)	891-5110

社会福祉協議会…ボランティア活動や地域福祉活動といった福祉に関する相談に応じています。

名称	所在地	TEL	FAX
緑区社会福祉協議会	緑区鳴子町一丁目7番1 緑区在宅サービスセンター内	891-7638	891-7640

福祉会館…60歳以上の方を対象に、趣味・教養講座や認知症予防教室等を行っています。

名称	所在地	TEL	FAX
緑福祉会館	緑区相原郷二丁目701番地	624-3131	624-4485

はち丸在宅支援センター…自宅等で療養するにあたり心配や不安なことなど、在宅療養に関する相談に応じています。

名称	所在地	TEL	FAX
緑区はち丸在宅支援センター	緑区潮見が丘一丁目77番地 名古屋市立緑市民病院3階	896-0874	896-0876

名古屋市

住まいの相談コーナー…高齢者向けの民間賃貸住宅の情報提供など住まいの相談に応じています。

名称	所在地	TEL	FAX
名古屋市「住まいの相談コーナー」	中区栄三丁目5番12号先 栄・森の地下街 南四番街 南側	242-4555	242-4555

在宅歯科医療・介護連携室…名古屋市全区を対象に訪問による歯科治療や口腔ケアの相談に応じています。

名称	所在地	TEL	FAX
名古屋市在宅歯科医療・介護連携室	南区弥次工町5丁目12-1 名古屋南歯科保健医療センター内	619-4188	619-4189

高齢者虐待相談センター…高齢者虐待の防止や早期対応のため、本人やご家族等からの相談に応じています。

名称	所在地	TEL	FAX
名古屋市高齢者虐待相談センター	北区清水四丁目17番1号 総合社会福祉会館5階	856-9001	919-7585

成年後見あんしんセンター…認知症などによって自分一人では契約や財産の管理が難しい方への成年後見制度の活用の相談に応じています。

名称	所在地	TEL	FAX
名古屋市成年後見あんしんセンター	北区清水四丁目17番1号 総合社会福祉会館5階	856-3939	919-7585

認知症コールセンター…介護経験者や社会福祉士などの専門職が認知症に関する相談に応じています。

名称	TEL
名古屋市認知症コールセンター	919-6633 734-7089 ※令和2年4月1日より、こちらの番号に変更になります。

最新の連絡先については、市ウェブサイトにて掲載いたします。

介護予防の旬なトピック

今から始めてみませんか？介護予防！

メタボ

ロコモからの○○○



フレイル!

そもそもフレイルって何？

年とともに体力・気力が下がり心身の活力が低下した状態です。

しかし、大丈夫！

フレイルのうちは、あなた次第で改善できます！

フレイルの3つの要素

身体的

転倒の増加
低栄養・口腔
機能低下

精神的

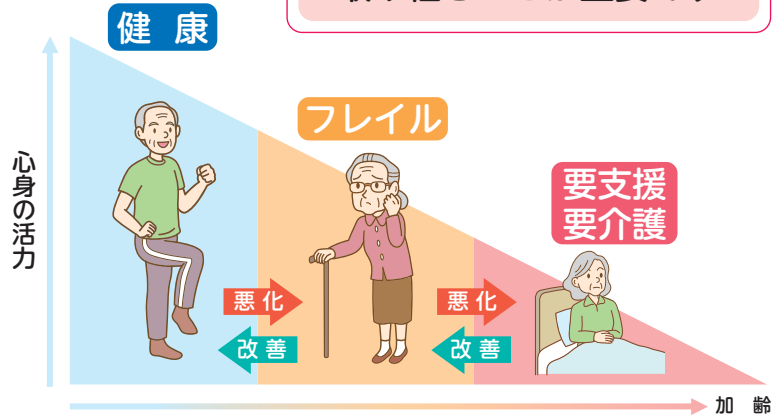
認知機能低下
うつ

社会的

閉じこもり
孤食

フレイルってこんな感じです (概念図)

早めに気づいて、早めに
取り組むことが重要です！



じゃあどうやってフレイルを改善・予防するの？

ポイントは、「運動」「栄養・口腔ケア」「社会参加」をバランスよく取り組み、継続して取り組むことが大事です。今から始めてみませんか？介護予防！

